

## DMC2000 線量計ご使用の皆様へ

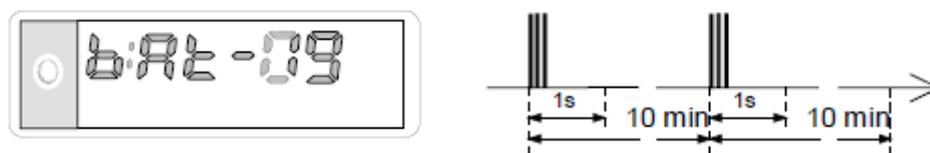
DMC2000 線量計の**バッテリー残量の表示**にご注意ください！！

通常、線量計操作時のバッテリー電圧は 2.9～ 3.2V です。バッテリー電圧が 2.7V に落ちると、バッテリーアラームを発します。2.5 V になると何も表示しません。バッテリーが完全になくなった状態でそのまま放置されますと、線量計に記憶されたデータが破損したり、データ履歴の整合性に不具合が生じ、“DF HIS” “DF EXT” “DF INT”などのエラーメッセージを表示して、測定できなくなることがあります。バッテリーアラームが出た時は、速やかに新しいバッテリーと交換してください。

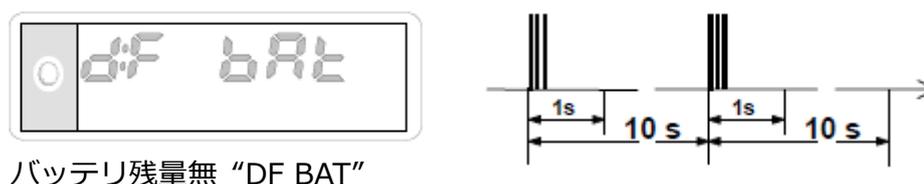
### バッテリー残量の表示

**Pause モード**ではバッテリーの残り時間がおよそ 72 時間を切ると、線量計は“BAT-” (バッテリー残量が少ない)と **Pause** を交互に表示します。また、自動的にバッテリーの消費が少なくなり、機能の一部が止まります。

**測定モード**ではバッテリーの残り時間が 10 時間を切ると、10 分毎に 1 回パルス音を発します。線量計画面にはバッテリーの残り時間に応じて“BAT-0X” (X : 0～9)を表示します。下の画面はバッテリー残量が 9 時間を意味します。(BAT-09)



**バッテリー残量が 0 になると** 10 秒毎に 3 回パルス音で警告、3 分後に機能が停止し画面がブラックになります。しかし**すべてのデータは ROM メモリに保存されます。**



## バッテリー交換時のご注意

メーカーは線量計のすべての性能(温度、寿命など)を保証するために、バッテリーはRENATA CR2450のご使用を推奨しています。バッテリーを交換する時は、埃がなく空調のある場所で、また線量計の**バッテリーがない状態で1時間以上放置しない**ようにご注意ください。

## バッテリー交換の手順

- 1) 線量計を一時休止モード(PAUSE)にします。
  - 2) マイナスドライバーでクリップを外します。
  - 3) 付属のキー(ない場合は先の細いマイナスドライバー)を使用し、バッテリーカバーを反時計方向に回しカバーを外し、バッテリー取り出します。このときアラームがなります。
  - 4) 新しいバッテリーを挿入する際は、“+”側が線量計背面方向になります。またバッテリー絶縁シールが“+”側接触部を覆っていないことをご確認ください。(シールの切り込み部分) バッテリーを扱う際は収納部やカバーの酸化を避けるために綿布をご使用ください。
  - 5) 新しいバッテリーを挿入後、バッテリーカバーを収納部に置き、押しますとビーブ音が鳴り、ディスプレイ部の表示が開始されます。そのままバッテリーカバーを時計方向に回してネジを閉めます
- ★**バッテリーがなくなり、そのまましばらく放置しますとディスプレイにエラーメッセージが表示される可能性が高いです。この場合測定できませんので別途ご相談ください。**

<クリップの外し方>



溝に沿ってマイナスドライバーを静かに押し上げながら、クリップを下に引き下げる

<クリップの取り付け方>



クリップを溝に沿ってカチンと音がするまで静かにスライドさせる

